

# 今井 顕公開講座 モーツァルト ピアノ・ソナタ 演奏法 指導法

一心が伝わる音楽とは？ 抑揚のとらえ方再確認



今井 顕 (いまい・あきら)

パウル・バドゥーラ＝スコダの薦めによって16歳で渡欧、ウィーン国立音楽大学に入学。早くも19歳で最優秀の成績にて同大学を卒業後、コンサートピアニストとしてソロ、アンサンブルとも国際的な活動を開始する。1981年より母校ウィーン国立音楽大学ピアノ専攻科にて教鞭を執る一方、ヨーロッパの音楽出版社における原典版楽譜の編集作業にも携わるなど、幅広い活動を展開。通算24年ものヨーロッパ滞在経験は今井の音楽に独特の味わいをもたらし、日本の誇る国際派ピアニストとして内外で高い評価を受けている。1995年、音楽分野における業績と尽力に対し、オーストリア政府より名誉教授の終身称号を授与される。現在は演奏活動のかたわら国立音楽大学大学院教授として後進の育成に携わるほか、国際コンクールの審査をはじめとして海外での活動も活発に行っている。

### 〈講座内容〉

- ・モーツァルトの書法を理解する
- ・モーツァルトのピアノソナタを表情豊かに弾くために
- ・西洋文化と日本文化の決定的相違はどこに？
- ・高低で感じる日本人——強弱で感じる西欧人

モーツァルトは自作のピアノソナタをどのように弾いたでしょうか。私たちにとってのモーツァルトは純然たる「古典」ですが、モーツァルト時代のモーツァルトは時代の最先端を行く、生き生きと表情豊かな音楽であったに違いありません。そして今、大切なのは、モーツァルトの書法を理解し、意図と心情とを解き明かす努力です。日本古来、日本人ならではの感性がクラシック音楽の表現を邪魔しているのかも知れません。そこに気づき、西欧で育まれた音楽へのアプローチを再確認してみましょう。実際に作品を詳しくみていきながら、実演も行います。

### ●日時

### ●テキスト

標準版ピアノ楽譜「モーツァルト ピアノ・ソナタ集 I～VI」New Edition  
(以上、音楽之友社)

※当日、会場で販売いたします

### ●会場

### ●お問い合わせ・お申込み先

### ●使用機材

ピアノ、ホワイトボード  
スクリーンとプロジェクター(Mac対応)

\* PC(Mac)は先生がお持ちくださいます  
※ご用意が難しい場合はご相談ください。

キリトリ線

今井 顕 公開講座

行 FAX.

申込日 月 日

年 月 日( )

モーツァルト ピアノ・ソナタ  
演奏法指導法

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員	・	一般

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。